

No.150 2018 JANUARY

平成30年1月26日発行



愛と復興

役場一部を残し 旧只見中学校へ移転	2
12月会議終わる	4
議会報告会開く	6
一般質問 10名が町政をたずね	13

発行：只見町議会広報広聴常任委員会  
〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2591番地30  
TEL.0241-82-5300 FAX.0241-82-5222  
E-mail:gikai@town.tadami.lg.jp

# 議会だより

# 只見



只見スキー場オープン!  
心を込めた一杯をどうぞ

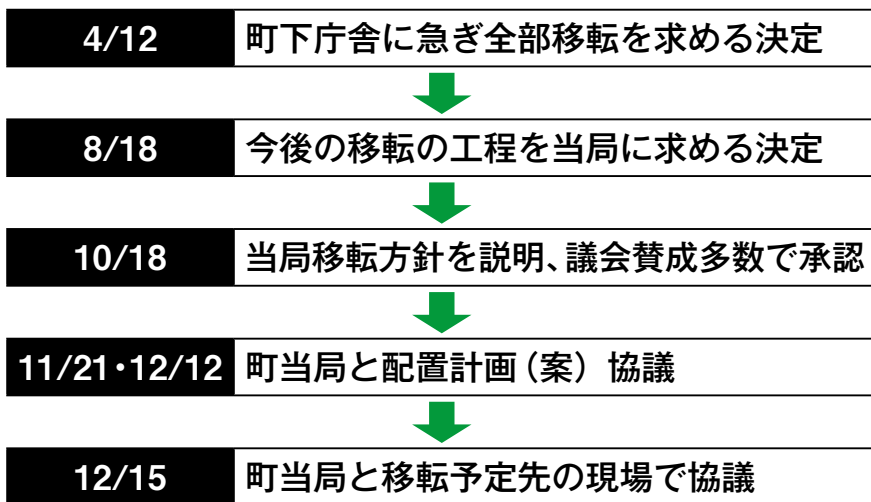


只見町議会中継は、只見町議会  
ホームページから視聴できます。  
←議会中継へ

# 町下庁舎へ

## 全 協 議 会 員 会

### 平成29年4月以降の議会全員協議会経過



議会は、危険であることから早急な移転を進めること。また、住民の利便性を考え、なるべく分散せずまとめるべきと主張してきた。この日開催された全員協議会に町長より以下の移転方針が示され、活発な質疑応答の結果、賛成多数で了承された。

## 10/18 移転方針 決定

役場庁舎の移転方針が示され、賛成多数で承認されました。旧只見中学校（以下、町下庁舎）に全部の移転を求めてきた議会と、現在の役場庁舎裏に隣接する新庁舎（以下、駅前庁舎）を中心に計画を進めてきた町側と調整ができましたが、遅い対応に議会から厳しい意見が出されました。経過と今後の工程などをお知らせします。

### 当局が示した移転計画(案)

- ◆現在防災や窓口サービスを担当する町民生活課と会計室は、日々の業務に密接な関連がある。また、防災設備の移転には多額を要するため、この2つの業務は駅前庁舎に残し業務を継続したい。
- ◆観光商工課は、今後JR只見線開通などに対応するため、駅に近い駅前庁舎に残し業務を継続したい。
- ◆その他の課は、町下庁舎へ移転する。



移転が予定されている町下庁舎2階



# 町民生活課(防災)・会計室 観光商工課を残し

## 議会

### 遅い対応に意見



現駅前庁舎全景

**問** 4月に予算を議決している。本来5月頃に説明があるべきだ。議会と話し合いながら進める約束のはず。

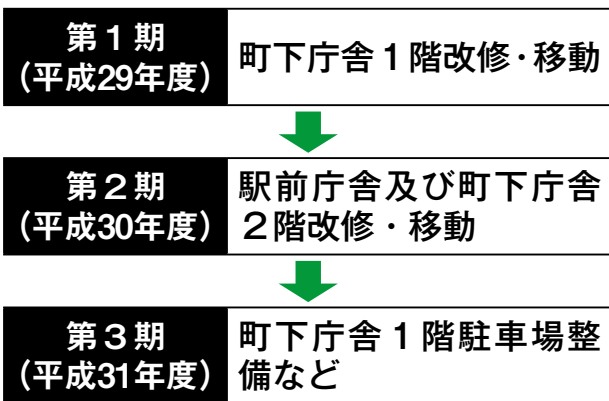
**答** 遅くなり申し訳ない。総務課の取り扱いなど内部協議に時間を要した。

**問** 危機管理意識が不足していないか。指導不徹底だったところもある。

**答** 観光課と産業課は、なぜ分けるのか。

**答** 当面JR只見線や八十里越開通など交流人口への対応も考え、駅近くにおき

### 今後の工程 (予定)



議会傍聴席の改修検討も

**問** 役場裏の駅前庁舎は、国道改良に支障はないのか。

**答** ボイラー室のみで支障はない。まずは全移転をして、その後じっくり検討すべきではないか。

**答** まずは今の業務を移せるところに移す。そして、将来の大きな議論としていきたい。

**H30年度  
移転完了予定**

町下庁舎の1階、2階に現在の役場機能がほぼ移転することになる。

。配置計画の協議と合わせ当局担当者と同場確認も行なったが、町民の利便を最優先に住民に立ち寄りやすい配置を求める意見が相次いだ。

今後、駅前庁舎と町下庁舎の改修を進めながら来年度中の移転完了を目指す。なお、議場傍聴席の改修も計画される。

# 12月会議

12月会議が11日から15日まで開催されました。一般会計補正予算（第7号）の他9つの特別会計補正予算などを審議。一部反対討論も出されましたが、提案されたすべての議案を可決しました。一般会計補正予算には、役場暫定移転に係る改修工事費や深沢温泉の源泉揚湯管入れ替えに係る予算などが含まれます。

## 深沢温泉 源泉揚湯設備改修予算議決 大切な町民いこいの場



源泉ポンプ入れ替え作業の様子

### 今後地中の調査も

深沢温泉は、平成8年の開業以来町民憩いの場として20年以上が経過した。源泉は鉄分と塩分が豊富で、肩こりや腰痛などに抜群の効果がある。

一方、経年の影響で

地中から温泉をくみ上げる管が劣化し、湯量や温度に影響が出ている。今回、これを改修する工事予算が提案され全会一致で可決した。なお、今後地中の調査も検討される。

### 意見書採択

12月会議で国への意見書が山岸議員から提案され、全会一致で採択された。

◆核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書

### 一般会計（第7号）補正予算 主な内容

(歳入)	
地方交付税（特別交付税9月確定分）	1399万円
財産収入（車両公売）	200万円
基金繰入金（役場庁舎暫定移転）	1億4000万円
(歳出)	
役場庁舎暫定移転改修工事費他	1億7220万円
「ふるさと館田子倉」改修工事設計委託料	252万円
特別会計繰出金（深沢温泉揚湯設備工事）	1285万円
宿泊・飲食事業持続化創業支援補助金	1000万円
町体育協会補助金（市町村対抗野球第3位）	50万円
道徳教材備品他	120万円
青少年旅行村災害復旧工事費（完了）	△303万円

# Q & A

## ふるさと館田子倉を 交流スペースに



ふるさと館田子倉

「ふるさと館田子倉」  
改修工事設計委託料

252万円

**問** カフェ的なスペース確保も必要では。

**答** 外へのデッキは困難。2階を活用し検討したい。

**問** 宿泊・飲食事業持続化創業支援補助金

1000万円

**問** どのような申請が寄せられているのか。

**答** 決定していないので公表は控えた。

**問** 町民からいろいろな意見がある。

**答** 商工会を通じた補助金となっているがなぜ。

**問** 豪雨災害後、観光

**答** 商工業者の減少から対策を講じてきた。経営指導などトータルで商工会が指導する体制となっている。

**問** ふるさと大使旅費

△31万円

**問** 減額の理由は。

**答** 九州福岡在住の2名の大使が都合で会議欠席の関係の減額だ。

**問** 農業集落排水事業アンケート調査

**答** アンケート調査されたが、今後



剣道で道徳心学ぶ只見ちびっこ剣士

**問** の活用は。

**答** 明和地区の統合施設を検討しているが、その申請資料として活用したい。

**問** 過疎計画の変更

**答** 旅行村の整備計画が「過疎計画」

**問** 上がったが、運営体制や収支見通しなどの協議などまだ課題がある。

**答** 委員会での意見は当然踏まえていく。

## 県人事委員会 勧告による 給与等の条例改正

### 条例

## こぶし苑 4月より 訪問リハビリ開始

介護老人保健施設置条例の一部を改正する条例案が提案され、全会一致で可決した。住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、こぶし苑で訪問リハビリが開始される。町議会、南会津会、県の承認を経て平成30年4月1日から始まる。



県人事委員会勧告による議員、町長、教育長の給与等を定めた条例の改正案が提案され、賛成多数で可決した。

### 反対討論

山岸議員

町民に還元すべきだという理由で反対する。

# 議会報告会

声……前例より前進を

すべてにスピードある対応を



他を圧倒する只見の自然環境

10/24 只見

- 只見高校卒業生を毎年地元に残してほしい

- 只見の環境を活かして移住政策に力を
- 定住者と議会の懇談会を
- 女性議員がいなくなったのがさみしい

# 声を町政に

- 7月災害で土砂流出多発、治山工事の推進を
- 農家への補助が目立つ
- 役場庁舎暫定移転のその後の進捗は



平成11年に町民により行なわれた民具整理（写真提供：只見町教育委員会）

- 民具資料館建設計画の進み具合は
- シルバー人材センターの立ち上げ予定は
- トレーラーハウスの運営状況は

10/25 朝日

- 町職員の育成に力を
- イノシシなどの鳥獣被害対策の強化を

## 参加者アンケートから

- 参加者が少ないので一考を要する
- 議員の生の声を聞くことができ参考になった
- 消防団への参加要請など、参加者を増やす方法を検討すべき
- 世代別の開催を

- 住民・議会・行政の連携強化の仕組みの検討を
- 予算が無駄にならないよう事業の監視を
- 買い物支援バス、来年度も継続を



継続を要望されている買い物支援バス

- 家族向け教員住宅整備を
- 小林に提案された住宅計画のその後は
- 7.18災害後の町の対応を明確に

- 新庁舎で失った1.2億円のその後は
- 地域住民参加の空き家対策を

10/26 明和

### 町民関心度ランキング

No.1	役場庁舎に関すること
No.2	空き家・住宅対策
No.3	7.18災害処理

# 住民の生の

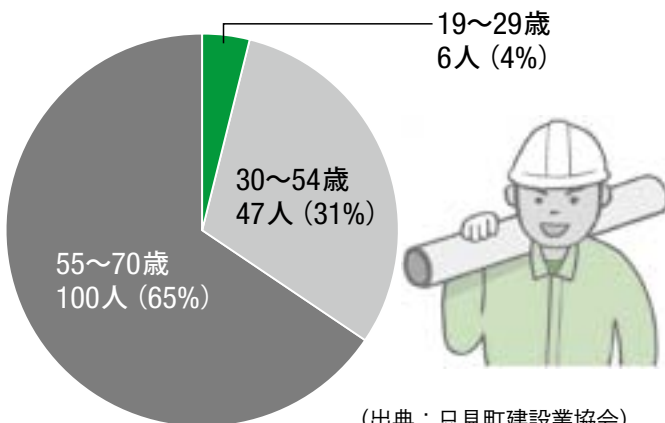


建設業協会との住民懇談会

## 建設業協会

## 住民懇談会

只見町建設業協会 社員年齢構成



(出典：只見町建設業協会)

## 若者確保 喫緊の課題

災害で延期されていた建設業協会との懇談会を10月10日に開催した。協会からは、美馬会長他7名が、議会は全議員が参加した。現在町内の建設会社

で働く方の年齢層は55歳以上が65%を占め、若者の確保・育成が喫緊の課題となっている。議会に対しても解決策を講ずるよう強い要請を受けた。

# 11月会議

## 7.18災害



黒沢線1号



柴倉寄岩線1号



余名沢線 (以上、写真提供：只見町農林振興課)

# 林道災害復旧予算7路線分 1億2240万円可決

11月21日に開催された11月会議では、一般会計補正予算(第6号)、工事請負契約の変更、教育委員会委員1名の選任同意が可決された。一般会計補正予算の主なものは、林道災害復旧費1億2240万円、7路線計8か所の工事となる。

\*専決処分とは…議決が必要な時期までに議決を得られない場合に、町長が議会に代わって処分を行なうこと。

なお、衆議院選挙費用約820万円が県から交付されたが、それに要した費用について町長の専決処分\*の報告が行なわれた。

## 教育委員の選任同意



無記名投票による教育委員の選任同意

新教育委員会委員の選任同意が提案され、大字只見の新國真也氏が全会一致で同意された。任期は3年。なお、採決は規定により無記名投票により行なわれた。

## 人事

### 林道災害復旧路線

路線名	延長(m)
黒沢線1号	33
黒沢線2号	60
太田森戸沢線1号	59
寄岩線	40
余名沢線	83
柴倉寄岩線1号	25
小塩沢線	24
小戸沢線1号	39
計7路線8か所	363



# 視察町 来

## 宮城県大衡村 通年議会などを研修

10月25日、宮城県大衡村ひらむら議会運営委員会より、議長含む7名が只見町の通年議会などを研修のため視察に来られた。

只見町議会での通年議会導入や議会基本条例制定の経緯などを説



大衡村より視察に来られた方々を囲んで

明した後、大衡村議会議員の方々とお互いが抱える課題について情報交換ができ、大変貴重な機会となった。

今後も当議会としても課題解決のため議会改革を行なっていく。



全員協議会で説明される渡部総務課長

# 域防 広消

## 新消防庁舎 建設計画を説明

12月12日、全員協議会において広域新消防庁舎（南会津町）の建設計画について、広域市町村圏組合から、事業進捗状況、建設計画

の内容、今後のスケジュール等について説明を受けた。

平成29年度から31年度までの総事業費は20億4118万円を見込んでおり、中心となる新庁舎建設は平成30年度に実施される見込みだ。新消防庁舎の完成が待ち遠しい。



# 委員会 リポート

## 総務厚生常任委員会 庁舎移転は 町民の利便性を最優先に



診察にあたる朝日診療所若山所長

### 役場庁舎 暫定移転計画

役場庁舎暫定移転については、第1期工事として町下庁舎1階の改修を行ない、環境整備課及び農林振興課の今年度中を用途にした移転完了。第2期工事として駅前庁舎、町下庁舎2階などの改修・移転を行ない、現本庁舎からの人的移転を完了する計画を確認した。

町外訪問客、観光客、町民の利便性を最重要

### 朝日診療所 経営健全化計画

視した暫定移転になるよう、継続して調査していく。

朝日診療所については、健全化方針に基づき平成30年度から32年度までの経営健全化計画(案)が作成された。

委員会では、さらなる調査が必要と判断し、今年度中継続して調査していく。

### 懲罰の対象(抜粋)

- ①会議中、法令違反や秩序を乱し、議長の停止命令や注意喚起に従わない場合
- ②会議中、無礼な言葉や私生活に関わる言論など議事に関係のない問題を論じた場合
- ③会議中、侮辱的な発言や行動で、他の議員から懲罰処分を求められた場合
- ④議員が怠って会議に出席しない場合
- ⑤秘密会の議事を漏らした場合
- ⑥議会開会の阻止など、議会運営に関わる行為をした場合
- ⑦議会の品位を汚し、その権威を失墜させるような言動を行なった場合など

## 議会運営委員会 議員の秩序と懲罰

議員は、規律や秩序を乱した場合、法律によって懲罰が課せられる。特にネット社会の今日、情報の伝達は早く、品位や秩序が厳しく求められている。

委員会では議長の諮問を受け内容の検討を進めてきたが、別表の内容が取りまとめられた。

# 経済文教常任委員会

## 遊休農地対策に中小農家への支援も

平成29年産米をもって国の生産調整が終了し、平成30年以降は米の作付け自由化が図られる。それを踏まえて町では、町内の認定農業者などの中心的担い手農家に対してアンケート調査を行なった。委員会ではその結果報告を受けたが、認定農業者だけでなく中・



深沢集落田園風景

小の農業者に対する町の支援策の充実も必要で、このままでは大多数の中・小農家が窮地に陥り、耕作放棄地が増える原因になるとの強い指摘が出された。今後、広範囲に調査を行ない、その結果を踏まえた政策を早急に定めるべきと意見を付した。

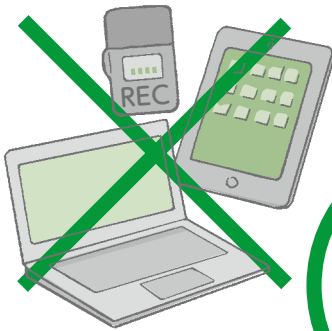
## 広報広聴常任委員会 議会のICT化を検討

委員会では議会のICT化へ向けた議論を推進している。まずはICT化推進の大義を明確にすべく議論を重ね、調査のため議会運営システムの提供業者を招いてのデモンスト

レーションも計画していく。また、現在の規定の見直しも同時に検討していく。

なお、ICT導入議会への視察研修を来年度予定したい。

議場に持ち込めない



現状は持ち込めるものにも制限があります



議場に持ち込める

\*ICT…Information & Communication Technology (情報通信技術)の略

表紙の写真

只見スキー場  
オープン  
心を込めた  
一杯をどうぞ

12月22日、大勢の関係者らが出席し只見スキー場オープン式典が行なわれました。安全を第一に、いよいよ冬の営業が始まります。湯気上がる厨房では、名物のトマトラーメンやカツ丼など、心を込めた1杯をお出ししています。  
1枚写真を撮らせてください。





ブンりん

# 教えて! 議会のこと

Vol. 14



アカショウちゃん



イワっぺ

## 「議会報告会」ってなあに?

只見町キャラクター ©Tadami

みんなに代わって只見町のキャラクターたちが聞いてくれました。



**ブンりん**

ねえねえ、この前議会報告会があったみたいなんだけど、みんなは行った?



**アカショウちゃん**

えっ! 知らなかった!



**イワっぺ**

ぼくは知ってたけど、みんなが行くからいいやと思って行かなかった。

**広報広聴委員長** ちょっとキミたち。議会報告会は町民が議会の中身を知る大切な機会なんだよ。ぼくたち議員を信頼して託してくれているのはうれしいけど、議員まかせで中身を知らないなんて、心配にならないかな?

**ブンりん** そう言われりゃ、心配になっちゃうけど……。

**アカショウちゃん** なんか難しそうなんだよね!

**イワっぺ** 報告会ってなにをするの?

**広報広聴委員長** 議会報告会は議会基本条例で定められた会で、1年間の議会活動を町民のみなさんに報告する会なんだ。でもなる

べく報告の時間は短めにして、町民との意見交換に多くの時間を割り当てているんだよ。

**ブンりん** へえ! そうなんだ! 報告会っていうから、お話聞いただけなのかと思ってたよ!

**アカショウちゃん** じゃあ、ぼくだって意見あるよ!

**イワっぺ** でもなかなか都合が……。

**広報広聴委員長** 報告会は3日間の日程で只見・朝日・明和の3会場でやってるよ。報告の内容は同じだから都合に合わせてどの会場でも参加できるんだ。



**ブンりん**

この次はみんなで行ってみようね!

見てね!



只見町議会中継は、只見町議会ホームページから視聴できます。



# 一般質問

- **大塚純一郎** ..... 14  
シルバー人材センターの設立は
- **目黒仁也** ..... 15  
振興センターは副町長直轄で
- **藤田力** ..... 16  
只見地区のライスセンター構想は
- **佐藤孝義** ..... 17  
県営中山間地域総合整備の実施は
- **鈴木好行** ..... 18  
サンドバレーコートの使用実績は
- **鈴木征** ..... 19  
真奈川線整備の考えは
- **目黒道人** ..... 20  
少子化対策、子育て移住のPRを
- **山岸国夫** ..... 21  
学校給食費の無料化を
- **中野大徳** ..... 22  
若者定住促進対策の拡充を
- **酒井右一** ..... 23  
人口減少、本町の将来は

# 町政を問う

この町を想い10名が

### 一般質問とは

議員が行政全般(役場の仕事全般)に対して、方針をただしたり政策の提言などを行なうことです。

# シルバー人材センターの設立は



おつかじゅんいちろう  
**大塚純一郎**議員

## 答 早急な設立が必要と認識

**問** 私の9月会議一般質問に対して、町長は「シルバー人材センターの設立を11月を目標に立ち上げる」との答弁だったと記憶しているが、12月になった今、何もできていない。また、それに対しての説明もない。議会における町長答弁とはそんなものなのか。

**答** 社会福祉協議会が中心になり、只見町生涯現役促進地域推進協議会を立ち上げ、厚生労働省の生涯現役促進地域連携事業第3次募集に係るコン

テストに参加し、この事業の中でシルバー人材センターの設立を目指し、事業採択後の事業開始時期を11月1日の予定という答弁でした。残念ながら審査結果は、「不採択」になった。今後の取組みは、平成30年度以後の事業実施に向け再応募する予定。

**問** 町が中心となつてシルバー人材センターを設立、運営する事が、町の将来にとって欠かせない事業だと認識している。町長は本気で取り組む覚悟があるのか。

**答** シルバー人材センターの早急な設立が必要との認識のもと、引き続き社会福祉協議会と連携し、人材センターに登録される方々のニーズを調査するアンケートを年度内に実施していく。

「ユネスコエコパーク」に登録されている。全国174自治体の中で、わずか9地域の自治体が「自然首都・只見」を宣言した只見町が、このブランド力をさらに高めて全国に発信していく事が求められている。

# 目指すべき「町づくり」とは

## 答 受入れ体制の確立、整備を図る

**問** 「自然首都・只見」を宣言した只見町が、このブランド力をさらに高めて全国に発信していく事が求められている。

**答** 4月から組織機構を再編して「ユネスコエコパーク」の取組みを強化するため新たな係を創設する。自然環境の保護、保全の大切さと人間と自然との共生の意義を町内外にPRする機会をつくり、全国に発信していきたい。あらゆる分野での受入れ体制の確立、整備の重要性は認識している。

る。その中で重要な事は、あらゆる分野での受入れ体制の確立、整備だと思いが。



六十里越からの眺望

# 振興センターは副町長直轄で

**答** より良い方向に検討する

**問** 今年の事務改善委員会で行なってきた役場組織機構見直しの一番の目的は。

**答** 4回開催した。まず効率的な組織運営を目指す。そして人口減少に対応する効果ある組織の検討だ。

**問** 現在の振興センターの課題をまずどのよう

**答** 約4年が経過したが、独自性が進んでいるという議論、また、3振興センターの統一性・連携強化も議論があった。

**問** 約4年が経過したが、独自性が進んでいるという議論、また、3振興センターの統一性・連携強化も議論があった。

**答** この際、集落・地域づくり全般を副町長直轄で取り仕切る流れを作るべきだ。今は、センター間の連携よりむしろ住民とセンターの連携強化が求められている。機能性の向上と町長が言われる「民意が反映できる体制」にもなる。

**問** 約4年が経過したが、独自性が進んでいるという議論、また、3振興センターの統一性・連携強化も議論があった。

**答** より良い方向で検討していく。

## 全町的に住民の足を見直す時期

**答** 買い物バスを含めた検討をする

**問** 12月5日に3人の議員で買い物支援バスの体験乗車を行なった。添乗員も重い荷物を手伝う等、役割は大きかった。来年を心配する声も聞かれた。皆さん感謝の言葉を口にしながら喜んでおられる姿を見ると継続させなければならぬ気持ちだ。次年度の対応として前回地域づくり交付金での対応を答弁されたが、他の団体の申請もあり予算確保が可能か。

**答** 何とか工夫して地域づくり交付金の予算内で運用していただきたいと考えている。

**問** 本来は、地域の団体の自主事業を支援する財源だ。前回も申し上げた別枠での予算化は考えられないのか。

**答** 別枠でなく、現行と同様の予算内での支援を考えている。

**問** 以前の陳情で町は効果を認め、前向きに検討を進める内容の回答を出している。今後JR只見線や国道289号の開通等の観光を含めた住民の足を再検討する時期ではないか。

**答** 時間は要するが検討していく。



議員 目黒 仁也



年間800人が利用する明和買い物支援バス



ふじ 藤 た ちから 田 力 議員

# 只見地区の ライスセンター構想は

**答** 研修に行くなど検討している

**答** 農作業受託組合や認定農業者による農地の利用集積を進め、耕作放棄地の未

**問** 減反政策も来年作る米から生産調整を止める。この事も問題に拍車をかけるし、町全体が耕作放棄地になる心配さえもある。どう考えるか。

**答** 平成28年の農地パトロールの結果、田畑合計で85・8haある。

**問** 町内の至る所で見かけるようになった耕作放棄地。面積はいくらあるのか。

**答** 町内の至る所で見かけるようになった耕作放棄地。面積はいくらあるのか。

**問** 町内の至る所で見かけるようになった耕作放棄地。面積はいくらあるのか。

**答** 町内の至る所で見かけるようになった耕作放棄地。面積はいくらあるのか。



地元での活用が期待される町産木材

**問** 然防止対策を進めている。只見雨堤の耕作放棄地はどうするの。また、只見地区のライスセンター構想も話題になるが、計画があるのか伺う。

**答** 未整理地区で排水状態が悪い。圃場整備ができないか検討している。ライスセンターについては生産者の人と研修に行くなど検討をしている。

**問** 布沢の山田に7haの耕作放棄地がある。現況は、田形さえわからない荒れようだ。しかし、課税は水田となっている。現

**答** 況課税の考えから評価替えすべきと思うが。営農計画書で自己保全管理としている農地は、①農業委員会に現況確認申請

**問** 伐採期を迎えた杉林の利用価値が低く大きな問題にな

**答** っている。伐採期を迎えた町内の杉はどのくらいあるか。

**問** 地元産材活用支援事業の要綱改正を

**答** 使いやすいようになるよう検討したい

**問** 地元産材活用支援事業制度の利用が低迷している。個人だけとしている対象を会社など法人にしなければ、利用は伸びない。山の杉材を活用するという目的に要綱を改正しなければ実態に合わない。改正する考えはないのか。

**答** 約804haある。

**問** 広域消防で新消防庁舎を建設する。一部にCLTで建設するため354㎡という大量の杉材を使う計画だ。ぜひ、只見の杉も使うように進めてほしい。

**答** すでに、管理者会で平等に発注するよう話している。

**問** 利用件数が多いとは言えないので、只見木材活用協議会の意見を聞きながら使いやすい制度に検討したい。

**答** 書を出し、②その証明書を税務係に提出、③現況地目の変更の手続きでできる。

**答** すでに、管理者会で平等に発注するよう話している。

**問** 広域消防で新消防庁舎を建設する。一部にCLTで建設するため354㎡という大量の杉材を使う計画だ。ぜひ、只見の杉も使うように進めてほしい。

**答** すでに、管理者会で平等に発注するよう話している。

**問** 利用件数が多いとは言えないので、只見木材活用協議会の意見を聞きながら使いやすい制度に検討したい。

**答** 書を出し、②その証明書を税務係に提出、③現況地目の変更の手続きでできる。

**問** 利用件数が多いとは言えないので、只見木材活用協議会の意見を聞きながら使いやすい制度に検討したい。

**答** 書を出し、②その証明書を税務係に提出、③現況地目の変更の手続きでできる。



# 県営中山間地域 総合整備の実施は

**答** 県より不採択の通知があつた

**問** 今年、各集落の要望箇所の現地確認をしたが進捗状況は。

**答** 要望内容を基に実施に向けた現地調査、補助申請をしたが、県より不採択の通知があつた。理由は国・県予算が非常に厳しく、郡内での新規事業採択箇所がない。

**問** 対象範囲と予算規模は。さらに耕作放棄地を含められるのか。

**答** 町内全域を予定しており、予算規模は、約20億円である。整備条件は、農業振興地域であれば可能期間は、何年程度か。

**問** 採択後、調査期間2年で採択申請及び決定に1年、その後の工事に5年を予定。

**答** 今日、今日の農業体系は、大型化に代

**問** 今後、さらに地域と協議しながら事業の熟度を高め、来年度以降再度の事業申請に向けて取り組みたい。

**答** 今後、さらに地域と協議しながら事業の熟度を高め、来年度以降再度の事業申請に向けて取り組みたい。

わっている。これらに対応していくためには、必須の事業だと思いが、町当局の対応が不十分ではないか。

**問** 八十里越開通を見据えた、国道289号、252号の道路拡幅、改良等安全対策は。

**答** 開通により交通量の大幅な増加が見込まれ、安全対策がこれまで以上に重要になると認識している。国道289号は、今年も小林など歩道拡幅が進められており、来年度も引き続き計画されている。国道252号は、今年新たに田子倉

**問** 只見川の計画対象地区は当町を含め5町、整備延長14.

**答** 只見川河川整備工事の予定と、伊南川合流地点からの県施工分の全体計画について、国・県の情報をわかる範囲で示せ。

**問** 3kmうち当町分として5.3kmである。来年度は八木沢地区の五礼橋上部工の着手他、引き続き護岸詳細設計を実施し、年度内には住民説明会を開催する予定。

**答** 近年の気象現象を踏まえると、町は危機感が足りないのでは。

**問** 今後も、本計画の着実、迅速な進捗について、国県に要望していきたい。

**答** 今後も、本計画の着実、迅速な進捗について、国県に要望していきたい。



議員 義孝 佐藤

## 道路拡幅、改良等 安全対策は

**答** 引き続き国・県に要望していく

開通により交通量の大幅な増加が見込まれ、安全対策がこれまで以上に重要になると認識している。国道289号は、今年も小林など歩道拡幅が進められており、来年度も引き続き計画されている。国道252号は、今年新たに田子倉



県庁での道路改良の要望活動の様子

# サンドバレーコートの使用実績は

**答** オープンが遅れ500人程度



鈴木好行議員

**問**

問 昨年12月会議では利用者8000人を見込んでいたとの答弁だった。見込みを大きく下回った原因は。

**答**

答 オープンが7月になったことで、計画していた大会などの誘致に至らなかったこと。まだまだPR不足であると考えている。

**問**

問 今後のスポーツパーク構想に向けての計画は

**答**

答 来年度、駐車場の整備に向けての実施設計を進めている。また、会議室やシャワ



降雪期を迎えたトレーラーハウス

**問**

問 トレーラーハウスで営業している人もいる。冬期間の除雪、集客をどうするのか。

**答**

答 除雪は、建物までの道路は町が実施、建物の管理は個人にしていた。また、集客は冬期間のス

## 移住希望者へのPR方法は

**答** おしらせばんやホームページ等で

**問**

問 ノーイベントを10回程度企画している。町内の人が利用できる施設整備の考えはないか。

**答**

答 現在は町内にあたる体育館等を利用していただきたい。

**問**

問 若者定住促進住宅の入居者募集はどのような方法で行なうのか。

**答**

答 これまでは週1回発行のおしらせばんで知らせていたが、イターン・Uターンのニーズも鑑み、町ホームページに募集広告を掲載するなど効果的なPRについて取り組んでいきたい。

**問**

問 以前、小林地区に町営住宅の建設計画があったと聞いたが、その後、どうなったのか。

**答**

答 町ホームページの見直しも含め、積極的に取り組んでま

# 真奈川線整備の考えは

## 答 利用者の安全確保に取り組む

**問** 町道真奈川線は、未舗装箇所が多く、車のすれ違いのできない箇所や、小沢から土砂の出るところがあり、集落の人や利用者は大変不便をこうむっている。教育や産業面に大いに活用している町道であるので、整備促進を図るべきと思うが、町長の考えは。

**答** 本路線は、あがりこブナの森やわらび園など集落の方々のご尽力により、観光や自然環境学習に積極的に活用されてきた。一方、延長も長く勾配のきつい区間や山からの出水箇所も多く、そのような通行に支障のある箇所を優先的に整備してきた。引

き続き、利用者の安全確保に取り組みたい。

**問** 只見湖・館ノ川線は、館ノ川から新田沢までが未舗装となっており、雨の影響等で通行が難儀する。今後の整備計画は。

**答** 未舗装区間は、それほど急勾配ではないが、融雪等の影響により通行に支障を来すこともある。今後、路面状況を調査しながら、支障のないように努めたい。



鈴木 すすむ 議員

## 一軒家対策としての生活道路整備は

### 答 周辺の用地取得が肝要



一軒家対策で整備した只見田中地内の生活道路

**問** 町は以前から冬期孤立住宅の解消のため、除雪車が入れるように狭い道路は改良をし、町道でない所は用地を買い、町道にして生活環境の改善に努めている。しかし、依然として解消されない町道があると思うが、どのように考えるか。また、第七次振興計画

**答** 住民の要望を聞いていないに聞きながら、冬期孤立住宅の解消に努めたい。事業実施に当たっては、周辺の用地取得が肝要のため、引き続き住民の理解を得ながら進めたい。

# 少子化対策、子育て移住のPRを

**答** 小中学校向けのPRも検討したい



目黒道と人議員

**問**

町が抱える課題の多くは人口減少問題にあると考える。人口減少対策は国任せにするのではなく、自治体が担うべき仕事である。町の人口減少対策、特に生産年齢人口を増やす取り組みについて伺う。

**答**

人口減少対策は国任せでなく、町の実情を踏まえ戦略的な事業展開が必要と考える。中でも働き場、住宅、子育ての3つを重点に事業を推進している。働き場の確保に

については雇用促進奨励金の交付、南郷トマトなどの新規就農者への支援、新規創業希望者への支援などを、住宅については空き家バンクの活用、民間借り上げ住宅、町営住宅の整備も行なう。子育て支援については年長児保育料の無償化、健やか発育・発達支援事業、放課後児童対策、子ども医療費助成、小中学校学力向上事業、公営塾の開設、一次医療機関の確保・充実などを子育て環境の充実を図っている。

**問**

昨年、私の娘が生まれたが、只見地区の同級生はたったの4人だけだった。同級生を増やすには「転校生が来る」ということになるが、子育て世代向けのPR事業は行なっているか。

**答**

昨年、私の娘が生まれたが、只見地区の同級生はたったの4人だけだった。同級生を増やすには「転校生が来る」ということになるが、子育て世代向けのPR事業は行なっているか。

**答**

子育て世代に限定したPRは行なっていない。

**問**

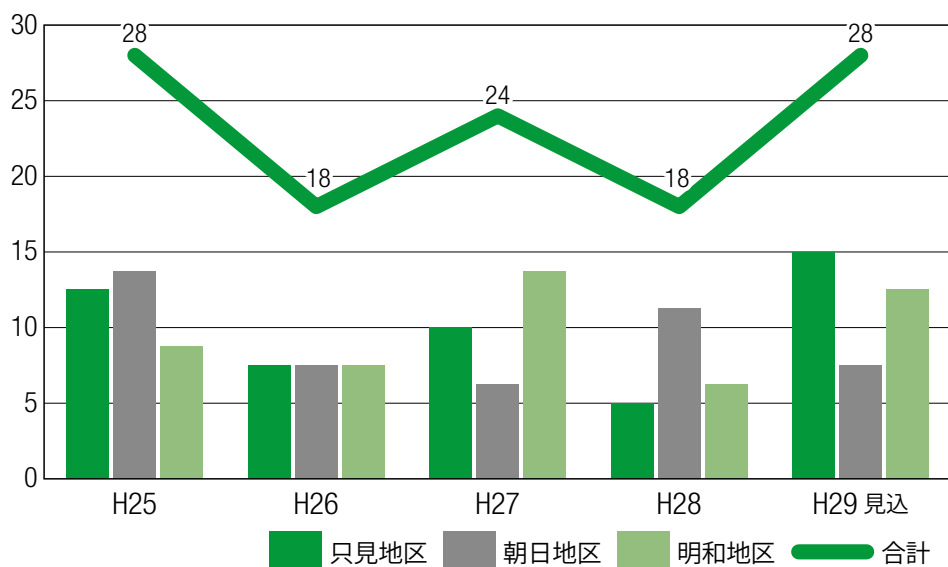
町が取り組む教育プログラムの充実を評価できる。この環境を求める潜在的なニーズは高い。子育て世代向け、特に小学校へ上がる前くらいの世帯へ向けて発信して欲しいが、どうか。

**答**

只見高校の山村留学制度のPRは行っているが、小中学校向けのPRも今後検討したい。

**問**

住宅についてだが、最近、葬式が多くなってきた。高齢世帯で亡くなると空き家になる可能性が高く心配だ。建物は人が住まないとだめになっってしまう。空き家バンクの活用も期待したいところだが、ご存命のうちにご家族で建物の



只見町この5年間の出生数

**答**

今後、協議していく。

行く末を相談してもらうよう、区長連絡協議会を通じて地区での申し合わせなど働きかけはできないか。

# 学校給食費の無料化を

**答** 国・県の動向踏まえ検討

**問** 昨年6月会議で学校給食の無料化、今年9月会議で子育て支援策を提案した。その後の検討はされているか。

**答** 県内では7町村が無料化している。町で行なう少子化対策の他の施策及び国・県の事業施策を踏まえて考える。

昨年6月会議で学校給食の無料化、今年9月会議で子育て支援策を提案した。その後の検討はされている。目的や動機は、少子化対策、子育て支援、これに加え食育の推進となっている。平成17年制定の食育基本法で給食と食育が知育・徳育・体育の基礎をなすものとされており、給食費無料化はその対象になると指摘している。子育て支援策として実施に踏み切る町長の決断を求める。



児童の給食の様子  
(写真提供：朝日小学校)



やまぎしくに お  
**山岸国夫** 議員

**答** 保育料軽減対策、小中学校の支援員の増など教育環境を整えてきた。給食は次の段階で国の動向を踏まえ考える。

## 診療所での眼科受診を可能に

**答** 医師の確保が困難

**問** 目の病気で遠方の医院に通院されている方の負担軽減のため、朝日診療所において整形外科と同じように受診できる体制確立を求める。

**答** 整形外科は月2回、南会津病院の医師派遣を受け診察を行なっている。南会津病院は整形外科常勤医師3人で、眼科は非常勤医師が週2回の診療であり、応援医師派遣は現時点では困難。

**答** 眼科で他市町に通院している人数は。

**答** 整形外科で今年度月平均79人。眼科の遠方通院者は国保加入者で月平均54人となっている。

**問** 遠方への通院は本人と家族の負担も大変だ。医師派遣を県と協議すべき。

**答** 胃カメラ・エコー室に眼科用医療機器の導入となる。通常診察時の対応困難が出てくる可能性あり。難しい。

## 確定申告マイナンバーの扱いは

**答** 未記入でも受理する

**問** マイナンバーの漏洩は全国で今年上期に273件も発生した。国関係省庁は、確定申告書、源泉徴収票、健康保険、厚生年

金保険などの書類に番号が未記載でも書類は受け取り、不利益はないとの見解を示している。町は自主的判断をすべき。

**答** 地方税法にもとづき記載のお願いをする。書かなくとも受理する。



なかのたかのり  
**中野大徳**議員

# 若者定住促進対策の 拡充を

**答** 国の動向も踏まえ検討を進める

**問**

JR只見線の再開通や国道289号の全線開通という前向きな話題もあるが、着実に進行する人口減少は、産業面に大きな影響を与え閉塞感を増幅させる。若者定住策として現在実施している子宝祝い金や無料保育をさらに拡充する考えはないか。

**答**

子宝祝い金については、平成26年度に拡充し、第1子に10万、第2子に20万、第3子に30万を支給している。実施状況を鑑みつつ、当面現状の通り継続していきたい。無料保育については、5歳以上児の保育料を無料としたところであり、他の児童においても3割から7割の減額を実施している。現在、国では平成31年

**問**

10月に消費税を10%に引き上げるのに伴い、3歳以上児の無料化の検討がなされているが、国の動向も踏まえながら検討していく。

**答**

給付型奨学金の検討状況は。事務調整会議において検討してきたが、結論として政府の「人づくり革命」の動向など、国・県の政策を見極める必要がある。国は、消費税10%引き上げに伴う増収分を財源として、幼児教育・保育や大学など高等教育を無償化すると公表している。これらの動向を踏まえて、当町にある既存の奨学金制度の課題を整理し、必要な改正を検討する。現在実施している貸与型奨学金の実績は。

**問**

**答**

平成3年からの保健福祉関係のデータであるが、36名が利用し、町の施設で働いているのは、3名である。

**問**

Uターン政策等においては国の動向等に関係なく、町独自で取り組まれるも



只見保育所の七夕会

**答**

のについては、スピード感を持って取り組まれない。奨学金制度については、保健福祉課、教育委員会それぞれに制度がある。意見を頂きながら内部検討を進める。

# 人口減少、本町の将来は

**答** ユネスコエコパークの深化が重要

**問** 只見町振興計画では、町の人口の将来目標を3000人としている。町長は、「政治」及び「政策」でどのような対策をとるのか。町長の政治姿勢を伺いたい。

**答** 働き場作り、住環境の整備、子育て環境整備等、引き続き総合的な施策に取り組む。

**問** 政治姿勢を具体化する政策を事業化するとすれば、まず何から手を付け、それをどうしたいのか。具体的な説明を求めます。

**答** 只見ユネスコエコパークの深化が重要と思う。それでは答弁になっていない。次の機会に、より明確な町長の具体的な政策を

**問** 施策についてただ。本町には公共交通として、明和地区の買い物支援バスと従来の雪ん子タクシーがある。両方とも重要な公共交通である。両者を比較検討し、さらに優れた公共交通を制度化し、それを町が行なう考え（1年以内）はないか。

**答** すでに担当課に指示を出している。

**問** 犯罪や交通安全、自然保護など課題はある。関係行政機関と連携し問題を把握していきたい。

**答** 八十里越は「環日本海経済圏計画\*」における物流の拠点（要衝）となる可能性がある。行政だけのことを言っているのではない。住民とどう連携し、情報を公開して対処して行くか聞いています。住民自治の喚起を促すには情報公開が不可欠だ。

**問** 今後は3地区の振興センターを十分に機能させ、不測の事態が起こらないよう努力する。住民自治の喚起については重要だと思っ

**答** 今後は3地区の振興センターを十分に機能させ、不測の事態が起こらないよう努力する。住民自治の喚起については重要だと思っ



さか い ゆう いち  
**酒井 右一** 議員

## 国道289号開通に向けた課題は

**答** 住民自治の喚起が重要



289号県境トンネルへ通じる7号橋梁工事現場（只見町側）

### \*環日本海経済圏構想

日本海を湖に見立て、湖を取りまく国々の間で発生すると思われる大きな経済圏構想。特に中国や韓国、ロシアなどを念頭に置いた日本の構想。

だと思っ

## 只見のさらなる 発展に向けて



只見中学校1年

わたなべ まき  
渡部 茉子

私は、只見が発展するためにはどのようなことをすればよいか考えてみました。その一つとして、「古民家カフェ」をつくることを提案します。

元々ある民家を利用し、新鮮な食材や只見の特産品を使った料理を提供すれば、町外からもたくさんの方が来てくれると思います。今流行の「古民家カフェ」をつくることで若い観光客が増え、只見に住む人が増えれば、高齢化にも歯止めがかかり、只見の発展につながると思います。

## 只見のよさを感じて もらいたい



只見小学校6年

すず き ろ  
鈴木 詠大

ぼくは、総合の学習を通して、只見町が観光にも力を入れていることを知った。只見には、素晴らしい自然がある。この自然を利用した観光をさらに増やし、他の地域から来た人にぜひ只見のよさを感じてもらいたい。

只見のよさを分かってももらえれば、きっと只見に住みたいと考える人も増えると思うからだ。このことが只見の人口減少をくい止めることにもつながるのではないかと、ぼくは考えている。



### 編集後記

新しい年の始まりです。今年、戊辰150年。改めて会津の歴史を考えるといい機会です。天皇陛下の生前退位も発表されました。年号「平成」も最後となります。

町にとっても「良い節目」になるよう知恵を絞らなければなりません。そのために委員会では、住民に寄り添った広聴活動に今まで以上に力を入れていきたいと考えています。

(目黒仁也委員長)

### 発行責任者

議長 齋藤邦夫

### 広報広聴常任委員会

委員長 目黒仁也

副委員長 目黒道人

委員 大塚純一郎

委員 中野大徳

委員 山岸国夫

委員 鈴木好行